

さかつらいそさきじんじゃ じゅそう
酒列磯前神社の樹叢

—水戸藩の景勝地—



酒列磯前神社は、ひたちなか市南東部の磯崎町の海岸を望む台地上にあり、磯崎灯台の北西側に位置しています。ひたちなか海浜鉄道湊線平磯駅の北東方700mに所在しています。

この神社は、平安時代初期の「もんとくてんのうじつろく文徳天皇実録りっこくし」(六国史の一つで、5番目の勅撰ちやくせんの正史)に官社とあり、元禄15(1702)年に境内を大規模に拡張して、現在地に遷座しました。明治18年には、国幣中社に列格されました。

この地は椿山と呼ばれており、椿が密生していたといわれています。参道両側や境内には、ヤブツバキやダブノキ・スダジイ・ヒサカキ・ユズリハ・モチなどの常緑広葉樹の植物が卓越し、ハマギク・ラセイタソウ・シャリンバイなどの海岸性の植物も混在し、比較的自然度の高い樹叢を形成しています。

平成17年11月に茨城県指定天然記念物に指定されています。